

補助第54号線（上祖師谷）開通による効果

～開通から約6か月後の利用状況～

東京都が整備を進めている東京都市計画道路補助線街路第54号線のうち、榎交差点から都立祖師谷公園までの約430mの区間が、令和5年4月23日（日）に開通しました。

交通開放後に交通量調査等や地域の方々にアンケートを実施しました。開通により、下記のようなストック効果^{※1}が得られましたので、お知らせいたします。

開通後の主な効果（別紙1、2参照）

○狭隘な都道118号線の交通量が減少！

- ・ 開通区間では、1日約10,000台の車両が通行しています。
- ・ 開通区間と並行する都道118号線の交通量が約9割減少しました。

○東西方向のアクセス性が向上！

- ・ 千歳台交差点と成城通りとの交差点の所要時間が短縮されました。
 - 千歳台交差点 ⇒ 成城通りとの交差点：約9分から約4分に短縮
 - 成城通りとの交差点 ⇒ 千歳台交差点：約13分から約7分に短縮

○利用者（地域住民や事業者等）が整備効果を実感！

- ・ 歩行者の安全性・快適性の向上、バスの定時性の向上等、多くの方が整備効果を実感しています。

※1 ストック効果とは、整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長年にわたり得られる効果です。

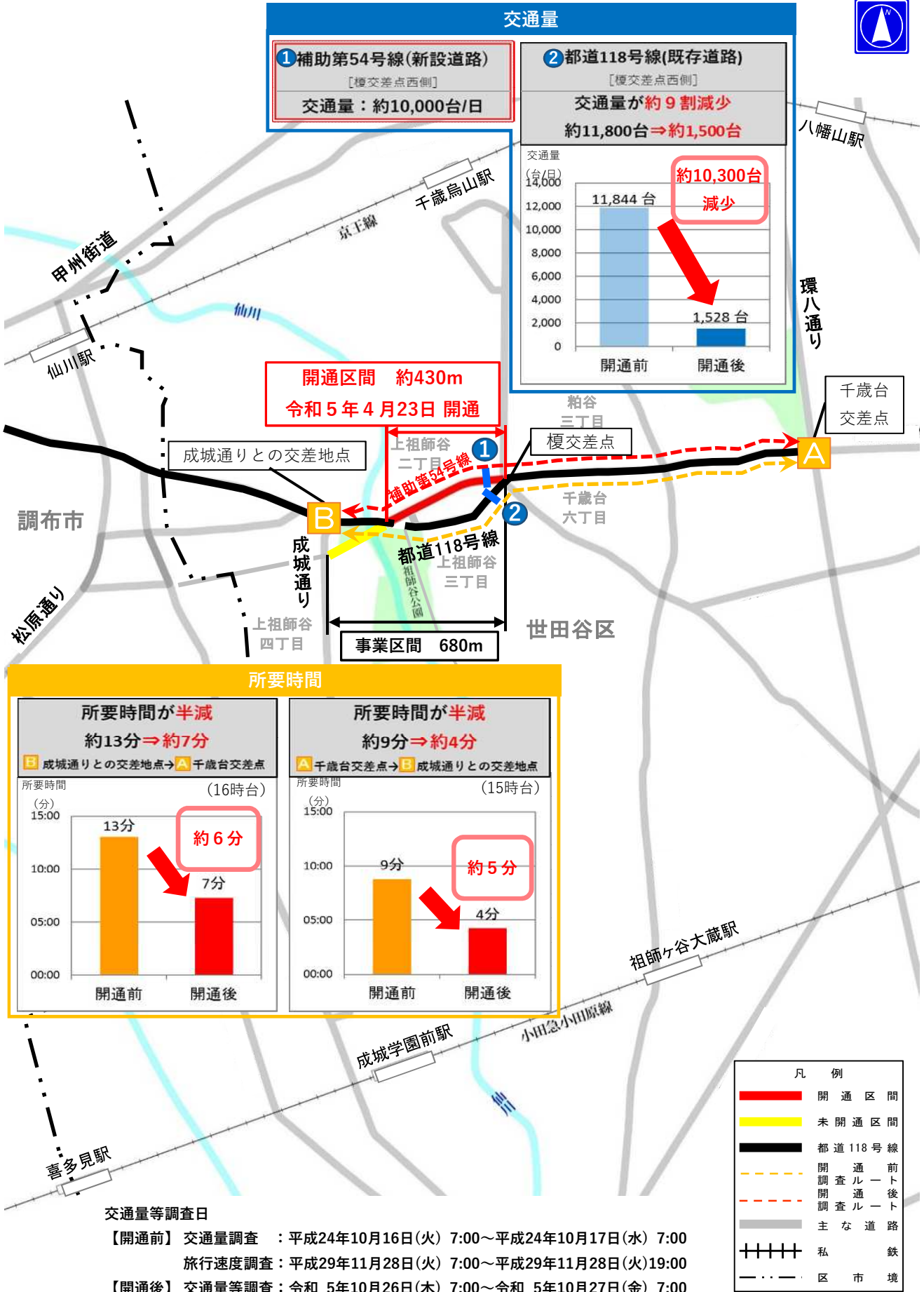
問い合わせ先

第二建設事務所 工事第一課 工務担当

ダイヤルイン 03-3774-9002

1. 補助第54号線（上祖師谷）開通から約6ヶ月後の利用状況

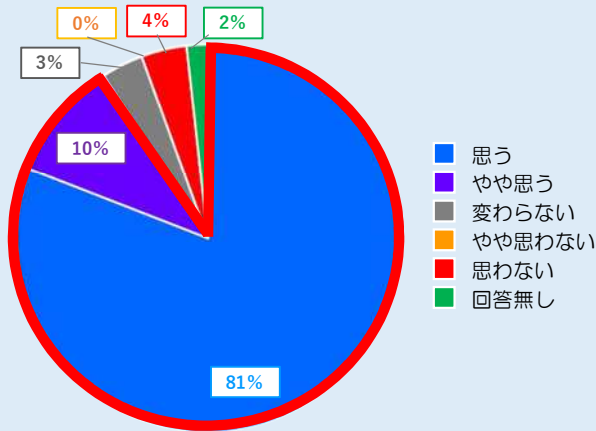
別紙1



開通区間の沿道の方や、バス・タクシー会社等の事業者にアンケート調査を実施しました（回答数346）。

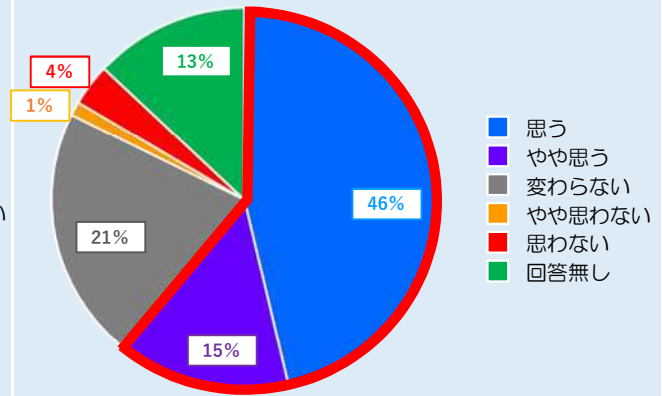
Q 開通前後を比較して、歩行者の安全性・快適性が向上したと感じますか。

91%の方が安全性・快適性の向上を実感！



Q 開通前後を比較して、バス（千歳烏山駅行）の定時性が向上したと感じますか。

61%の方が路線バスの定時性の向上を実感！



Q その他の意見

【補助第54号線について】

- ・道が広くなり、対向車や歩行者を気にせず運転できる。
- ・車の走行がしやすくなったため、目的地への時間が短縮したと思う。
- ・歩道が両側に設けられたので、安全に歩ける。
- ・電柱の倒壊による道路の遮断が生じる可能性が低くなり、防災性が向上したと感じる。

【都道118号線について】

- ・開通前は狭いのに車が多く、渋滞していることが多かったが、今は渋滞がほとんどない。
- ・車両数が大幅に減り、歩行や自転車の利用が安全にできている。

【その他】

- ・未開通区間がボトルネックになっており、危険なため、早期開通を希望する。
- ・バス停が移動して不便になった。

Q 事業者の声

（消防署・バス・タクシー・小学校・保育園）

【消防署】

道が広くなり、安全に運行することができ、目的地への到着時間が短縮したと感じる。

【バス】

走行環境がかなり改善され、運転しやすくなった。狭隘路における接触事故も減少すると思う。

【タクシー】

対向車や歩行者・自転車等とのすれ違いのストレスがなくなった。バス停に停車するバスを無理なく追い越せるようになった。

【小学校】

都道118号線への自動車の流入が減り、歩行する児童の安全性が増した。

【保育園】

以前はバスや車が多く、絶対に園児を連れて都道118号線を歩くことはなかったが、補助第54号線はとても歩きやすい。

交通開放前の都道118号線の様子



交通開放後の補助第54号線(上祖師谷)の様子

